

『生涯活躍のまち』第5回事例紹介セミナー

日 時

令和 6 年 11 月 12 日 (火) 14:00~15:30

Zoom会議

セミナーの内容

主催：内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

概要

第5回は、交付金を活用した「生涯活躍のまち」の取組事例をテーマとして、
北海道 上士幌町様 及び **愛知県 江南市様** から取組事例について発表していただきました。

事例紹介

1

まちづくり会社とともに進めるコミュニティづくり

北海道
上士幌町

生涯活躍のまち導入のきっかけと交付金活用

- 行政でカバーしきれない事業へのニーズが高まり、「生涯活躍のまち」に取り組むこととなった。**町長が中心となって庁内検討体制を構築。**
- 町の総合戦略においても、生涯活躍のまちを重点施策と位置付け、地域への定着を図る取組を実施。国の地方創生の政策目的と合致し、交付金活用を行うことにした。
- 2017年9月に町や地域団体が出資して**株式会社 生涯活躍のまちかみしほろ**を設立。これにより、行政が行いたくても行いきれない事業を担う主体となった。
- 地方創生関係交付金では、2016年の地方創生加速化交付金をはじめ、地方創生推進交付金、デジ田交付金を活用して様々な取組を展開している。

交付金活用のメリットと課題、今後の展望

- 行政が実施しづらいサービスを事業化でき、**住民サービスの向上につながった**。また、まちづくり会社の設立から現在に至るまでの財源措置が出来たこと。
- **事業期間内での自走化に向けた取組**は課題。交付金活用事業は今年度で終了となる。今後は、ふるさと納税や町の基金、他の補助金等を活用しながら必要な事業を継続していく予定。
- 随時、事業の見直しも行いながら、**今後も生涯活躍のまちの取組を推進していく**。

事例紹介

2

地域交流センター拠点とした 全世代・全員活躍のまちづくり

愛知県
江南市

地域交流センターの整備と生涯活躍のまち

- 少子高齢化、人口減少社会への転換等を背景として、地域コミュニティの担い手不足や地域とのつながりの希薄化、社会からの孤立化など地域課題は多様化・複雑化している。
- 駅前的好立地を活かし、官民複合施設を整備。市民の利便性、市の魅力向上とともに、賑わいと交流を創出する。
- これまで市民協働研究会による提言や、まちづくり基本条例の制定等、市民協働推進の取組を進めてきた。これからの市民協働の推進については、**時代背景や市民ニーズに沿った新たな拠点の必要性**から複合公共施設を拠点として展開することになった。
- 拠点の整備に当たり、事業コンセプトの検討段階で「生涯活躍のまち」の取組を知り、開館を機にデジ田交付金（推進タイプ）を活用してソフト事業を展開している。

交付金活用のメリットと課題、今後の展望

- これまでデジ田交付金を活用していなかったが、国や県の説明会・相談会等に出席することで、**市の事業を客観的に分析し、ブラッシュアップすることができた**。
- 交付金活用のノウハウを得ることが出来たので、**今後は他の事業についても交付金活用を検討していきたい**。



事例紹介に関するQuestion

事例 1 北海道上士幌町

Q

まちづくり会社の設立にあたり、苦労した点などがあります。

A

出資を受ける際に、地域企業からの理解を得ることが一番大変だった。何度も説明に行くことにより理解を得られた、

Q

交付金を続けて活用出来たポイントはありますか。

A

既存の交付金事業を通じて見えてきた課題に対して、新たに事業を企画するという観点で取り組んだ。

事例 2 愛知県江南市

Q

生涯活躍のまちについて、総合計画等への位置づけはされているか。

A

総合計画策定にはタイミングが合わず、掲載しきれなかったが、各課に生涯活躍のまちの取組を共有して地域再生計画の策定に至った。

Q

他部署との連携はあるか。

A

月に1回の施設内の連携会議を行い、取組について提案している。



参加者の声

今回の事例紹介セミナーには、**21の団体**に参加登録いただきました！

参加者の声



今後のまちづくりを考える際に自走できる「まちづくり会社」の必要性を感じているため、今回の取組事例のご教示は大変参考になりました。



行政が行いたくても行いきれないところをカバーする組織を構築され多種多様な事業展開をされていた点が参考になった。

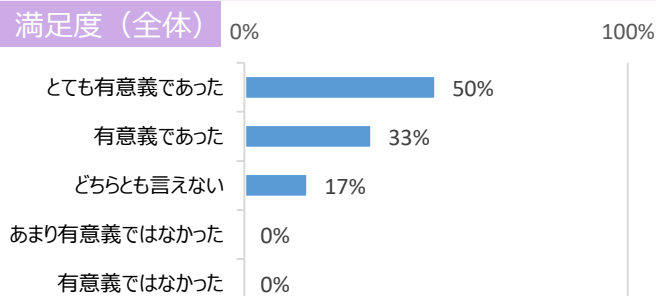


他部署との連携の面で苦労されている点を確認でき、参考となったため。



近年は薄れてきているコミュニティの大切さを改めて認識できた

満足度（全体）



それぞれの事例紹介についても、おおむね「有意義であった」と回答いただきました。

お問合せ先

「生涯活躍のまち」分科会について

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 中村・藤村



03-6257-1414



JPccrc@cas.go.jp

「生涯活躍のまち」のイメージや取組事例等については、次のURLからご確認ください

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/index.html>

